

京都府の農林水産業・農山漁村の将来ビジョン

－2040年に目指す姿－

ビジネス

魅力的な「産業」として夢あふれる農林水産業のイノベーションを実現

コミュニティ

地域の人々の希望と活力に満ちた「農山漁村」を実現

セキュリティ

防災対策や食料の安定供給、食の安全性確保など「安心・安全」な地域社会を実現

農林水産業・農山漁村が府民生活に果たす役割

農林水産業と農山漁村は、食料の生産や地域経済を支える役割だけでなく、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成、リフレッシュの場の提供など、都市部に住む人も含め、京都府民の生活にとって重要な役割を果たしています。

その公益的機能の評価額は、京都府全体でおよそ1兆円にもものぼると試算されており、こうした役割を府民の皆様への理解や応援を得ながらしっかりと守り、次世代に引き継いでいくことが大切です。



図出典：平成29年度 食料・農業・農村白書（農林水産省）
評価額は、日本学術会議答申（2001年11月）を元に京都府で試算

発行：京都府農林水産部農政課
住所：〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
TEL：075-414-4898 FAX：075-432-6866
HP：https://www.pref.kyoto.jp/nosei/r01vision.html

詳細は、こちらをご覧ください⇒



京都府 農林水産ビジョン

～希望と活力に満ちた農林水産業と農山漁村暮らしの共創～



京都府農林水産ビジョンとは

京都府における農林水産施策の計画的な推進を図るため
目指す姿や施策の方向性を体系化・具体化するもの

令和元年12月策定後の情勢変化を踏まえて令和5年3月に改定

－計画期間－ 令和元年度～令和10年度（目標年度：令和8年度）

令和5年3月 京都府農林水産部

5つの重点戦略と主な施策

－ 将来ビジョンを実現するため、今後4年間で集中展開 －

戦略1 フードテックと基盤強化で 農林水産業の夢と安心を創造する

先端技術を活用して農林水産業や農山漁村が直面する様々な課題の解決を図り、構造改革を進め、生産力を向上させることで持続可能な魅力ある農林水産業を創造します。また、安心・安全をもたらす基盤づくりを進め、食料の安定供給と暮らしの安心を実現します。

施策

- ・食に関する最先端技術と京都の食文化が融合した「京都ならではのフードテック」を展開し、成長産業化を推進
- ・堆肥の利用など地域資源の有効活用を進め、環境負荷低減と生産性向上を両立した持続可能な農林水産業を推進
- ・「水田フル活用」を推進し、所得向上と食料の安定供給に寄与
- ・京都の特長を生かした京野菜や畜産物、養殖漁業等の生産力を強化
- ・スマート技術の実装や水田の高度利用に対応した基盤整備を強化
- ・防災重点農業用ため池の防災工事を集中的かつ計画的に実施 など

主な到達目標

農林水産業の産出額を802億円に増加



万願寺とうがらし自動収穫のための果実判別技術の開発



改修された防災重点農業用ため池

戦略2 森林を適正に管理し、 林業の発展と豊かな森を実現する

森林経営管理制度を活用した計画的な森林整備や木材サプライチェーンの再構築による木材生産の拡大を進めるとともに、府内産木材の需要喚起による利用促進を図ります。

また、ソフト・ハードの両面から森林の防災・減災対策を進めます。

施策

- ・森林所有者への啓発や市町村への技術的サポートにより手入れ不足の森林の集約化や整備を加速
- ・川上から川下の事業者のグループ化により木材サプライチェーンを強化し、木材の安定供給を実現
- ・「府民会議」開催などで、府内産木材の利用に係る気運を醸成
- ・山地災害危険地区での治山施設設置や危険木の処理等の対策を進め、山地災害を未然に防止 など

主な到達目標

適正に管理されている人工林の面積を48,000haに拡大



手入れが行き届いた森林



府内産木材を利用した家具

戦略3 オープンイノベーションで ブランド価値を進化させる

京都のブランド力を生かして各製品の魅力に磨きをかけ、国内外の消費動向に対応した商品開発を促進するとともに、流通の基盤づくりを進めることで、「京もの」のブランド価値を進化させます。

施策

- ・異業種連携でオープンイノベーションを促進し、中食需要や健康志向等に対応した高付加価値の商品・サービス開発を促進
- ・輸出に取り組む事業者・産地の支援や、京の食文化を生かしたPRで「京もの」の販路を拡大
- ・京野菜、オリジナル米「京式部」、宇治茶、花き・果樹、「Kyoto Beef 雅」等の畜産物、「丹後とり貝」等の水産物、林産物など、品目ごとの取組でブランド力を向上
- ・「食の京都」の魅力ある食材のPRや食育の推進 など

主な到達目標

新たに異業種連携・6次産業化に取り組んだプロジェクト数 累計650件



高級志向に対応した中食商品



オリジナル米「京式部」

戦略4 人づくりの裾野を広げ、産業・地域を支える多様な人材を育む

担い手の育成・支援体制の充実により地域の農林水産業を牽引する人材を確保・育成するとともに、多様な人材へのサポートと若い世代に向けた魅力発信により担い手の裾野を広げます。

施策

- ・人材育成拠点（農業大学校、林業大学校、海の民学舎等）の機能強化や新規就業者の確保・定着を総合的に支援
- ・経営体のニーズに応じた伴走支援体制の強化や経営研修の充実により、経営の発展を支援
- ・副業・兼業として農林業に携わる半農半Xやシニア世代などの人材育成を強化し、多様な担い手を確保
- ・地域農業の将来像「地域計画」の策定を支援し、持続的な農業構造への転換を推進 など

主な到達目標

農林漁業の新規就業者を毎年新たに245人確保



海の民学舎における定置網実習



イチゴ生産法人を伴走支援



シニア世代等を対象とした農業講座

戦略5 人と資源の活用で、持続可能な農山漁村コミュニティを創る

地域共同活動の最適化や外部人材の活用、有害鳥獣対策の支援、移住促進などにより、持続的で活力に満ちた地域づくりを進めるとともに、地域ビジネスの展開により雇用と所得を生み出します。

施策

- ・地域基盤の維持や収益確保の取組をマネジメントする農村型地域運営組織（農村RMO）等の形成を支援
- ・住まいの確保支援や仕事情報の提供、地域の受入体制づくりなど、移住支援を強化
- ・ICT技術を活用した有害鳥獣対策を促進するとともに、京都府産ジビエのブランドを確立
- ・「農泊」の取組拡大や荒廃農地を活用した特産物生産など、地域資源を生かしたビジネス展開を支援 など

主な到達目標

農村型地域運営組織（農村RMO）等を新たに6地区で形成



将来ビジョン策定のためのワークショップ



先輩移住者の元を訪ねる現地ツアー



京都府産ジビエを活用した料理